

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

AXIS Camera Station S2008 Appliance

AXIS Camera Station S2016 Appliance

AXIS Camera Station S2024 Appliance

ユーザーマニュアル

本書について

本マニュアルはAXIS Camera Station S20 アプライアンスシリーズの管理者およびユーザーを対象とし、製品をネットワーク上で使用し、管理するための手順を記載しています。ネットワークに関する経験があると、本製品を使用する上で役に立ちます。UNIXまたはLinuxベースのシステムに関する一定の知識も、シェルスクリプトおよびアプリケーションを開発する上で役に立つ場合があります。本ガイドの以降のバージョンは、www.axis.comに掲載されます。

法律上の注意事項

ビデオ、音声監視は法律によって規制されている場合があります。その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くのAxisオフィスまでお知らせください。Axis Communications ABは、いかなる技術または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品およびマニュアルに予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications ABは、市場性および特定目的への適合性に関する黙示的保証を含め(ただし、それらに限定されない)、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications ABは、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。本製品は、その本来の目的でのみ使用してください。

知的財産権

Axis ABは、本書に記載された製品で具体化された技術の知的財産権を保有しています。これらの知的財産権としては、具体的かつ無制限に、www.axis.com/patent.htmlに表示されている1つまたは複数の特許と米国および他の国々における1つまたは複数の追加特許または係属中の特許出願を含む場合があります。

本製品には、Apple Public Source License 2.0の条項(www.opensource.apple.com/aps/を参照)に基づいて、Apple Computer, Inc.のソースコード著作権が含まれています。ソースコードは、<https://developer.apple.com/bonjour/>からご利用いただけます。

製品の改修

本製品は、ユーザーズマニュアル記載の手順に厳密にしたがってインストールし、使用する必要があります。本製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれていません。本製品を権限なく変更または改修すると、適用されるすべての規制上の認証や認可が無効になります。

著作権と商標に関する通知

©2015 Axis Communications AB, © 2014 Dell Inc. All rights reserved. 本製品は著作権および知的財産権に関する米国の法律および国際法によって保護されています。AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ETRAX、ARTPEC、およびVAPIXは、さまざまな管轄区域におけるAxis ABの登録商標または商標出願です。他のすべての会社名および製品は、各会社の商標または登録商標です。記載内容は予告なく変更されることがあります。

Dell™はDell Inc.の商標です。Ethernet、Internet Explorer、WWWは、各所有者の登録商標です。Microsoft®、Windows®、MS-DOS®、Windows Vista®、Windows Vista スタートボタン、およびOffice Outlook®は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。JavaとすべてのJavaベースの商標およびロゴは、Oracleおよび関連会社の商標または登録商標です。

規制情報

ヨーロッパ

CE 本製品は、適用される各種のCEマーキング指令および整合規格に準拠しています。

- 電波に関する適合性(EMC)指令2014/30/EU。2ページの電波に関する適合性(EMC)を参照してください。

- 低電圧(LVD)指令2014/35/EU。2ページの安全性を参照してください。
 - 危険物質に関する制限(RoHS)指令2011/65/EU。2ページの廃棄およびリサイクルを参照してください。
- 適合宣言の原本のコピーは、Axis Communications ABから入手できます。3ページのコンタクト情報を参照してください。

電波に関する適合性(EMC)

本装置は、以下に関する適用規格を満たすように設計、試験されています。

- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の無線周波放射
- 指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の電気および電磁現象に対する耐性

米国

本装置は、シールドネットワークケーブル(STP)を使用した試験において、FCC基準パート15に基づき、クラスAデジタルデバイスの制限に準拠していることが認証済みです。これらの制限は、商業環境での稼働時に本装置を有害な干渉から適切に保護することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、使用説明書に準拠して設置および使用しない場合は、無線通信に有害な干渉をおよぼすおそれがあります。本装置が住居地域内で作動することによって有害な干渉が発生することがあります。その場合は、ユーザーの負担で干渉を修正する必要があります。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル(STP)を使用して接続してください。

カナダ

本装置は、CAN ICES-3(クラスA)に準拠したデジタル装置です。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル(STP)を使用して接続してください。Cet appareil numérique est conforme à la norme NMB ICES-3 (classe A). Le produit doit être connecté à l'aide d'un câble réseau blindé (STP) qui est correctement mis à la terre.

欧州

本デジタル装置は、EN 55022のクラスA制限に準拠したRF放射の要件を満たしています。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル(STP)を使用して接続してください。注意！本装置はクラスA製品です。住宅地域で本製品を使用すると無線干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーが適切な対策を講じなければならないことがあります。

本製品は、EN 55024事業所および商業環境に準拠した耐性の要件を満たしています。

オーストラリア/ニュージーランド

本デジタル装置は、AS/NZS CISPR 22のクラスA制限に準拠したRF放射の要件を満たしています。本製品は、適切に接地したシールドネットワークケーブル(STP)を使用して接続してください。注意！本装置はクラスA製品です。住宅地域で本製品を使用すると無線干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーが適切な対策を講じなければならないことがあります。

日本

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本製品は、シールドネットワークケーブル(STP)を使用して接続してください。また適切に接地してください。

安全性

本製品は、IEC/EN 60950-1、情報技術装置の安全性に準拠しています。

廃棄およびリサイクル

本製品がその耐用年数に達した場合は、地域の法律と規制に従って廃棄してください。最寄りの指定収集場所に関する情報については、当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。本製品を不正に廃棄すると、地元当局による処罰の対象となることがあります。

欧州



この記号は、本製品を家庭または商業廃棄物と一緒に処分してはならないことを意味します。本製品は、欧州

連合 (EU) 加盟国において廃電気電子機器指令 (WEEE指令) 2012/19/EUの対象となります。人の健康や環境に害を与える可能性を避けるため、本製品は、必ず、認可された環境的に安全なリサイクル処理で廃棄してください。最寄りの指定収集場所に関する情報については、当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。商用利用者は本製品の適切な廃棄方法について、製品のサプライヤーにお問い合わせください。

本製品は、電気電子機器における特定有害物質の使用規制 (RoHS) に関する指令2011/65/EUの要件に準拠しています。

コンタクト情報

Axis Communications AB
Emdalavägen 14
223 69 Lund
Sweden

電話: +46 46 272 18 00

Fax: +46 46 13 61 30

www.axis.com

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axisの販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が販売店から適切な窓口に送られます。インターネットに接続している場合は、次の作業を自身で行うことができます。

- ユーザードキュメントとソフトウェアアップデートをダウンロード
- FAQデータベースを使用して問題の解決方法を検索。製品、カテゴリ、またはフレーズで検索してください。
- お客様専用のサポートページにログインし、Axisサポートスタッフに問題を報告
- Axisのサポートスタッフとチャット
- Axisサポート www.axis.com/support にアクセス

保証情報

Axisの製品保証と関連情報については、www.axis.com/warranty をご覧ください

詳細情報

Axisラーニングセンター (www.axis.com/academy) にアクセスしてください。役に立つトレーニング、ウェブセミナー、チュートリアル、ガイドをご用意しています。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

目次

スイッチの管理	5
内蔵PoEスイッチにアクセス	5
ナビゲーションバー	5
Overview (概要)	6
System Information (システム情報)	6
Resource Usage (リソース使用量)	6
Port Status (ポートの状態)	6
PoE	8
PoE Status (PoEの状態)	8
PoE Administration (PoEの管理)	8
ACL (Access Control List) (ACL (アクセスコントロールリスト))	10
Access Control List Status (アクセスコントロールリストの状態) ..	10
Access Control List Administration (アクセスコントロールリストの管理)	10
Network (ネットワーク)	11
Switch Configuration (スイッチの設定)	11
DHCP Server (DHCPサーバー)	11
Admin (管理)	13
Security (セキュリティ)	13
Maintenance (メンテナンス)	13
Settings (設定)	13
Firmware (ファームウェア)	13

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

スイッチの管理

スイッチの管理

本マニュアルでは、スイッチの内蔵Webサーバー経由でアクセスできる機能と操作について説明しています。

本スイッチには、製品の設定と管理を行ったり現在のシステム状態を確認したりするために使用できる、使いやすいインターフェースが備わっています。

内蔵PoEスイッチにアクセス

デスクトップから、[Get Started Application (開始アプリケーション)] を開き、[Information & Support (情報およびサポート)] タブに移動するか、ブラウザでスイッチのIPアドレス192.168.50.1を開きます。

ユーザー名**admin**とパスワード**system**でログインします。

スイッチに最初にアクセスする際に、デフォルトのパスワードを変更することが推奨されます。

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーには次の機能があります。

- Tabs (タブ)
 - Overview (概要)
 - PoE
 - ACL
 - Network (ネットワーク)
 - Admin (管理)
- Language selection (言語の選択)

ドロップダウンリストには、製品で使用できる言語が表示されます。言語を選択すると、すべてのユーザーインターフェースがその言語で表示されます。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

Overview (概要)

Overview (概要)

[Overview (概要)] には、製品の情報や状態を示す次の3つの表示領域があります。

- System Information (システム情報)
- Resource Usage (リソース使用量)
- Port Status (ポートの状態)

System Information (システム情報)

この表示領域には、お使いのスイッチについての基本的な識別情報が表示されます。

Model (モデル) - デバイスのモデル名です。

Serial Number (シリアル番号) - デバイスのシリアル番号は、メンテナンスや個々のデバイスの追跡に役立ちます。

Firmware Version (ファームウェアのバージョン) - スイッチのファームウェアをアップグレードする必要があるかどうかを判断するには、インストールされているファームウェアのバージョンを確認してください。

Port Counter (ポートカウンター) - 社内アップリンクポートを含む、デバイスでサポートされるネットワークポートの数です。

Max PoE (最大PoE) - Power over Ethernet (PoE) デバイスに使用可能な合計電力です。

Resource Usage (リソース使用量)

この表示領域では、主要なスイッチリソースの使用状況を知ることができます。

Total PoE Usage (PoE 合計使用電力) - [Total PoE (PoE 合計)] 棒グラフは、スイッチに接続されているPoEデバイスが消費している電力(ワット数)を示します。最大電力に到達すると、デバイスは電力をそれ以上供給できなくなります。

PoE Status (PoEの状態) - [PoE Status (PoEの状態)] では、PoEの有効化状態と、PoEをサポートするように有効化されているポートの数が示されます。

ACL Status (ACLの状態) - ACL(アクセスコントロールリスト)の有効化状態と、この追加セキュリティ機能が有効化されているポートの数が示されます。ACLでは、特定のMACアドレスがポートにバインドされ、他のMACアドレスのデバイスからのトラフィック(送信または受信)が防止されます。

Port Status (ポートの状態)

[Port Status (ポートの状態)] には、各スイッチポートとU1の動作に関する詳細が表示されます。このエリアは、各ポートの主要な動作パラメーターをすべて知りたいときに役立ちます。この表示領域から個々のスイッチポートを無効にして、未使用のポートのセキュリティを向上させることができます。

Port # (ポート番号) - 選択したデバイスが接続されているポート番号です。

Link State (リンク状態) -

- [Up (アップ)] はこのポートにデバイスが接続されていることを示します。
- [Down (ダウン)] はデバイスが接続されていないことを示します。

Link Speed (リンク速度) - 各ポートで現在ネゴシエーション済みのリンク速度です。

Transmit Rate/Receive Rate (送信レート/受信レート) - 各ポートのトラフィック負荷の概要です。ポートにおけるアウトバウンドおよびインバウンドデータの平均データレート(メガビット/秒)を示します。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

Overview (概要)

Power Draw (使用電力) - ポートに接続されているデバイスがPoE経由で使用している平均電力(ワット数)です。

PoE Enabled/ACL Enabled (PoEの有効/ACLの有効) - 各ポートの有効/無効の状態を示します。セキュリティを向上させるため、アクティブなPoEデバイスを持つポートでのみPoEを有効にするようお勧めします。ACLは、権限のないデバイスがネットワークに配置されることを防止するために使用する必要があります。

Port Enabled/Disabled (ポートの有効/無効) - ポートの有効/無効の状態 (ポートがデータの送受信を実行できるかどうか)が表示され、状態を変更できます。この設定はリンク状態やPoEとは別個のものです。無効にされたポートは引き続きPoEデバイスに電力を供給していたり、デバイスに物理的に接続されていたりする可能性があります。リンク状態が **[Up (アップ)]** であるか、接続されているデバイスが電力を使用しているかにかかわらず、そのポートをデータの送受信に使用することはできません。ポートを無効にすると、いかなるデバイスもスイッチやネットワークにアクセスできなくなります。セキュリティを向上させるため、使用されていないポートは無効にする必要があります。

Uplink 1 (アップリンク1) - U1またはSFP1にアクティブな接続がある場合は **[Up (アップ)]** と表示され、そうでない場合は **[Down (ダウン)]** と表示されます。最大リンク速度と平均送信/受信データ(メガビット/秒)から、トラフィックパターンを理解し、関連するアプリケーションの動作状態を確認できます。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

PoE

PoE

[PoE/Cable (PoE/ケーブル)] 画面には、各ポートとPoEデバイス全体でのPower over Ethernetの設定と状態に関する詳細情報が表示されます。このデータは、スイッチの電源容量の設定、有効化、無効化、および管理に役立ちます。

[PoE] 画面には次の2つの表示領域があります。

- PoE Status (PoEの状態)
- PoE Administration (PoEの管理)

PoE Status (PoEの状態)

この表示領域にはPower over Ethernetの状態パラメーターが表示されます。

Port # (ポート番号) - 選択したデバイスが接続されている本アプライアンスのポート番号です。

Link State (リンク状態) - [Up (アップ)] はこのポートにデバイスが接続されていることを示し、[Down (ダウン)] はデバイスが接続されていないことを示します。

PoE Mode/PoE Class (PoEモード/クラス) - スイッチによって検出されたデバイスのタイプです。この値は設定不可であり、接続されているデバイスとのやり取り、およびデバイスの使用電力に基づいて、スイッチによって割り当てられます。

- [PoE Mode (PoEモード)] の値は、IEEE 802.3atまたはIEEE 802.3af標準に基づいて [AT] または [AF] になります。
- [PoE Class (PoEクラス)] の値は0~4であり、下の表で示されているIEEE標準で定義済みの次のプロパティに対応します。

クラス	用途	電流等級 (mA)	電力範囲 (ワット数)	クラス説明
0	デフォルト	0-4	0.44-12.94	未実装の等級
1	オプション	9-12	0.44-3.84	超低電力
2	オプション	17-20	3.84-6.49	低電力
3	オプション	26-30	6.49-12.95	中電力
4	802.3at (タイプ2) デバイスで有効。802.3afデバイスでは使用不可	36-44	12.95-25.50	高電力

Power Draw (使用電力) - 接続されているデバイスが消費している平均ワット数です。

Power Limit (電力制限) - PoEモードとクラスに基づくデフォルトの制限が表示されます。

PoE Enabled/Disabled (PoEの有効/無効) - PoEの有効/無効の状態が表示され、この状態を変更することによって1台または複数のデバイスについてPoEのオンまたはオフを設定できます。PoEを無効にすると、PoEが必要なデバイスへの給電はオフになり、リンク状態は [Down (ダウン)] になります。

PoE Administration (PoEの管理)

この表示領域には、スイッチの現在の合計消費電力と使用可能電力に関する情報の要約が表示されます。また、PoEの一般的な制御を行うことができます。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

PoE

(Watts Scale) and Total PoE Usage ((ワット数) と PoE 合計使用電力) - スイッチに現在接続されているすべてのデバイスが使用している電力量 (ワット数) が、接続されている全デバイスが消費した合計電力 (ワット数とパーセント) と共に表示されます。これは、デバイスを設置したり電源容量を確認したりする際に役立ちます。

PoE Port Active (アクティブなPoEポート) - 現在Power over Ethernetでのデータ転送が有効なポートの数が表示されます。

Master PoE (Enable All / Disable All) (マスターPoE (すべて有効/すべて無効)) - 1つのコマンドにより、すべてのポートでPoEを有効または無効にすることができます。すべてのポートでPoEのオンとオフを切り替えることができます。

PoE Power Management (PoE電力管理)

各ポートは、接続されている受電デバイスのPoEクラスに従って電力を確保します。

特定のポートの実際の消費電力がそのポート用に確保された電力を上回ると、そのポートはシャットダウンされます。

すべてのポートの実際の消費電力が電源から供給可能な合計電力量を上回った場合も、ポートはシャットダウンされます。ポートのシャットダウンの順序は、ポートの優先度に従います (小さいポート番号ほど優先度は高くなります)。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

ACL (Access Control List) (ACL (アクセスコントロールリスト))

ACL (Access Control List) (ACL (アクセスコントロールリスト))

このページを使用してMACアドレスを特定のポートに固定すると、そのMACアドレスからのトラフィックだけが渡されるようになります。これによってセキュリティが劇的に向上し、権限のないユーザーがセキュリティネットワークにノートPCやその他のデバイスを接続できなくなります。

ACLページには次の2つの表示領域があります。

- Access Control List Status (アクセスコントロールリストの状態)
- Access Control List Administration (アクセスコントロールリストの管理)

Access Control List Status (アクセスコントロールリストの状態)

この表示領域ではACL機能の状態が表示され、個々のポートでACLを有効/無効にするためのコントロールが提供されます。

[Access Control List Status (アクセスコントロールリストの状態)]には次の機能があります。

Port # (ポート番号) - 選択したデバイスが接続されているポート番号です。

Link State (リンク状態) - [Up (アップ)]はこのポートにデバイスが接続されていることを示し、[Down (ダウン)]はデバイスが接続されていないことを示します。

Discovered MAC Address (発見されたMACアドレス) - このMACアドレスとの間でやり取りされるデータトラフィックだけが許可されます。ポートに接続されているデバイスのMACアドレスはスイッチによって自動的に検出されてここに表示されます。

Bound MAC Address (バインドされたMACアドレス) - ACLを有効にすると、ポートは発見されたMACアドレスにバインドされます。その他のデバイスはこのポートで通信できません。[Discovered MAC Address (発見されたMACアドレス)]がある場合にACLを有効にすると、そのMACアドレスは[Bound MAC Address (バインドされたMACアドレス)]列に移動してこのポートにバインドされます。

PoE Enabled/Disabled (PoEの有効/無効) - PoEの現在の有効/無効の状態が表示されます。

ACL Enabled/Disabled (ACLの有効/無効) - [Discovered MAC Address (発見されたMACアドレス)]がある場合にACLを有効にすると、そのMACアドレスは[Bound MAC Address (バインドされたMACアドレス)]列に移動してこのポートにバインドされます。ACLを無効にすると、[Bound MAC Address (バインドされたMACアドレス)]値が消去され、このポートに異なるデバイスをバインドできるようになります。

Access Control List Administration (アクセスコントロールリストの管理)

ACLの状態の概要が表示され、スイッチに接続されたすべてのデバイスについてACLを有効または無効にできます。

ACL Ports Active (アクティブなACLポート) - ACLを使用して特定のMACアドレスにバインドされたポートの数です。

Master ACL (マスターACL) - この機能を使用すると、バインドされたMACアドレスを持つすべてのポートについてACLを有効または無効にできます。発見されたMACアドレスまたはバインドされたアドレスを持つポートだけが影響を受けます。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

Network (ネットワーク)

Network (ネットワーク)

[Network (ネットワーク)] 画面では、スイッチのIPアドレスを設定したり、スイッチのポートに接続されたカメラやその他のデバイスのIPアドレスを制御する内蔵DHCPサーバーを管理したりすることができます。

[Network (ネットワーク)] 画面には次の2つの表示領域があります。

- Switch Configuration (スイッチの設定)
- Switch DHCP Server (スイッチDHCPサーバー)

Switch Configuration (スイッチの設定)

[Switch Configuration (スイッチの設定)] では、スイッチのIP割り当て、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを管理できます。

工場出荷時の設定では、接続タイプは静的IP、アドレスは192.168.50.1、サブネットマスクは255.255.255.0です。

この表示領域を使用して別のアドレスを入力することもできますが、ほとんどのカメラインストールではデフォルト設定を使用するようお勧めします。なぜなら、このネットワークは通常、社内LANから分離され、サーバーに存在するビデオ管理ソフトウェア (VMS) によって行われる、カメラおよび関連するセキュリティアプリケーションデータの管理と収集にのみ使用されるからです。

他のアプリケーション (AXIS S20xx Serverに存在するものではない) がスイッチ上のデバイスにアクセスすることがインストールで求められている場合、トラフィックは物理接続経由でU1ポートに移動する必要があります。ただし、カメラから社内LANへのトラフィックが発生するため、ほとんどの場合にこれは望ましくなく、推奨されてもいません。

外部アプリケーションからスイッチ上のデバイスへの直接接続が必要な場合は、トラフィックがスイッチから別のサブネットに移動でき、ドメイン名をIPアドレスに解決できるよう、ゲートウェイ、DNS 1、DNS 2を設定する必要があります。

この表示領域には次の機能があります。

Connection Type (接続タイプ) - デフォルト設定は [Static IP (静的IP)] です。

IP Address (IP アドレス) - U1スイッチ接続のIPアドレスです。このアドレスを使用してスイッチのWebインターフェースにアクセスできます。

Subnet Mask (サブネットマスク) - U1スイッチ接続のサブネットマスクです。

Gateway (ゲートウェイ) - U1スイッチ接続にアクセスするためのゲートウェイです。

DNS 1 - スイッチが使用するプライマリドメインネームサーバーです。

DNS 2 - スイッチが使用する代替ドメインネームサーバーです。

Reset (リセット) - 最初からやり直せるようにすべてのエントリを消去します。

Save (保存) - ネットワーク設定で行われた変更を保存します。変更を反映するには、スイッチを再起動する必要があります。

DHCP Server (DHCPサーバー)

スイッチの [DHCP Server (DHCPサーバー)] の表示領域から、接続されたデバイスへのIPアドレス割り当てに内部DHCPサーバーを使用するようにスイッチを構成できます。60分以上の長さで、動的IPアドレスのリースが更新されるまでの期間を設定することもできます。

デバイスにアクセスを許可したり外部アプリケーションからアクセスしたりするためにU1接続を使用する場合は、ゲートウェイとDNSアドレスを指定する必要があります。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

Network (ネットワーク)

サーバーを内蔵スイッチに接続するIntel I211ネットワークインターフェースは、常にDHCPを使用するように設定されている必要があります。

重要

スイッチのDHCPが有効で、サーバーがU1ネットワークコネクタ経由で外部ネットワークに接続されている場合、その外部ネットワークで別のDHCPホストを使用することはできません。そうでないとIPアドレスの競合が発生します。

この表示領域には次の機能があります。

Status Enable/Disable (ステータスの有効/無効) - DHCPサーバーが無効に設定されている場合は、IPアドレスをカメラに手動で割り当てるか、U1ネットワーク接続経由でアクセスできる外部DHCPサーバーをIP割り当て用に使用する必要があります。

Start/End IP Addresses (開始/終了IPアドレス) - DHCPが有効な場合に、接続されたデバイスの割り当てに使用する開始/終了IPアドレス範囲を選択できます。

Subnet Mask (サブネットマスク) - U1スイッチ接続のサブネットマスクです。

Gateway (ゲートウェイ) - U1スイッチ接続にアクセスするために使用できるゲートウェイです。

DNS 1 - スイッチが使用するプライマリドメインネームサーバーです。

DNS 2 - スイッチが使用する代替ドメインネームサーバーです。

Lease Length (リース期間) - DHCPサーバーが動的IPアドレスプールの再割り当てに使用できる期間(分)です。最小時間として強制的に設定される値は60分です。

Reset (リセット) - 最初からやり直せるようにすべてのエントリを消去します。

Save (保存) - ネットワーク設定で行われた変更を保存します。変更を反映するには、スイッチを再起動する必要があります。

AXIS Camera Station S20 Appliance Series

Admin (管理)

Admin (管理)

この画面では基本的な管理機能を実行できます。[Admin (管理)] 画面には次の4つの表示領域があります。

- Security (セキュリティ)
- Maintenance (メンテナンス)
- Settings (設定)
- Firmware (ファームウェア)

Security (セキュリティ)

この表示領域ではスイッチ管理者用のパスワードを設定できます。本アプライアンスのスイッチには**admin**という名前のユーザーだけが存在し、工場出荷時の設定パスワードは**system**です。

Maintenance (メンテナンス)

この表示領域は、スイッチを工場出荷時の設定にリセットしたり、ネットワーク設定やその他の重要な設定変更を行った後で再起動したりするために使用します。

スイッチのIPアドレス割り当ての変更を実施したり、DHCP/静的IP割り当て動作の変更を有効/無効にしたりするには、スイッチを再起動する必要があります。

スイッチを再起動すると、すべてのデバイスが一時的にスイッチとの接続を失います (PoEを含む)。

Settings (設定)

物理IPアドレスではなく論理名を使用してスイッチの場所を特定し、アクセスしたい場合は、スイッチのホスト名とドメインを設定できます。これにより、ネットワーク発見ツールを使用して特定のデバイスの場所を特定することが容易になります。

工場出荷時の設定では、ホスト名は本アプライアンスのシリアル番号、ドメインは**local**です。

Firmware (ファームウェア)

この表示領域には、スイッチに現在インストールされているファームウェアバージョンが表示され、変更することができます。

ファームウェアを更新するには、ブラウザーのホストデバイスを表示して新しいファームウェアを検索します。適切なファームウェアファイルを選択して **[Update (更新)]** をクリックすると、スイッチのアップグレードが開始します。このプロセスには数分かかります。アップグレードプロセス中はスイッチの電源を切ったりその他の機能を実行したりしないでください。スイッチに接続されたすべてのデバイスは、スイッチの再起動時に一時的に接続を失います。

ファームウェアの変更によりスイッチの設定が変更されることはありません。ファームウェアが変更され、新しいバージョンに付随する動作変更が実施されるだけです。

